

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等理科指導法			17673	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	1973年～2011年神戸市立小学校に38年間勤務			

### 授業の到達目標

小学校理科の教育目標と指導方法を修得する。また、自然科学の知識を習得し、指導計画の作成や学習指導のあり方について実践を通して学び、理科の授業作りの基礎を培うことを目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とA（自立）の育成を目指す。

### 授業の概要

小学校学習指導要領（理科）の教科目標及び学年目標、指導のあり方を把握する。エネルギー、粒子、生命、地球を中心に具体的な内容を取り上げ、指導力、応用力を養う。さらに、情報機器及び教材の効果的な活用を理解した上で、指導案作成や模擬授業を通して、実践力を育成する。

### 授業計画

- 1 理科とは何か、小学校学習指導要領 理科の変遷
- 2 小学校学習指導要領 理科の構成
- 3 小学校学習指導要領 理科の内容
- 4 理科教育の今日的課題
- 5 理科の教材研究と授業の構想：授業の仕組みと展開
- 6 理科の教材研究と授業の構想：学習指導案の書き方と授業の見方
- 7 理科の教材研究と授業の構想：評価規準の考え方と実際の評価
- 8 教材研究と授業化に向けて：教材研究と学習指導案の作成（情報機器及び教材の活用を含む）（3、4年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容から）
- 9 3、4年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（風とゴムの力の働き、光と音の性質、電流の働き、身の回りの生物、人の体のつくりと運動）
- 10 3、4年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（磁石の性質、空気と水の性質、太陽と地面の様子、季節と生物）
- 11 3、4年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（物の重さ、金属、水、空気と温度、雨水の行方と地面の様子、天気の様子、月と星）
- 12 教材研究と授業化に向けて：教材研究と学習指導案の作成（情報

機器及び教材の活用を含む）（5、6年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容から）

- 13 5、6年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（振り子の運動、てこの規則性、植物の発芽、成長、結実、動物の誕生、人の体のつくりと働き）
- 14 5、6年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（電流がつくる磁力、電気の利用、流れる水の働きと土地の変化、植物の養分と水の通り道、生物と環境）
- 15 5、6年 エネルギー、粒子を柱とした内容、生命、地球を柱とした内容の教材研究と授業化：模擬授業と相互評価（物の溶け方、燃焼の仕組み、水溶液の性質、天気の変化、土地のつくりと変化、月と太陽）

### 授業の方法

講義にディスカッションと発表を多く取り入れる。

### 準備学修

「Webで参照すること。」

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め（全3回）、講義の中でフィードバックを行う。

『平常点50%、定期試験50%』

### 欠席について

大学の規定通り

### テキスト

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編（文部科学省）

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等生活科指導法			17677	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
東内 則子	選択	2	公立小学校教員			

### 授業の到達目標

・生活科誕生の背景や経緯について理解する。  
 ・生活科の目標を知り、他教科と違う特質について理解する。  
 ・学習展開の基礎となる内容構成やそれぞれの内容の持つ役割について理解する。  
 ・内容の組み合わせによる有効な単元活動や指導計画を探る。  
 ・各内容を通して他教科や道徳との関連的な指導方法を理解する。  
 このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

低学年の子どもにとって極めて重要な役割を果たす生活科。その、誕生の経緯や特質を理解するとともに学習を展開するうえでの基礎となる教科目標を踏まえ、内容構成や指導計画の工夫について理解を深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション「私が学んだ生活科」レポート
- 2 各自の生活科へのイメージの違いと学びの格差
- 3 生活科誕生の背景・生活科とはどんな教科か
- 4 生活科の目標（生活科の抱える課題と新指導要領のねらい）
- 5 生活科の内容（内容構成と階層性）
- 6 生活科の内容分析  
内容1 「学校と生活」  
内容2 「家庭と生活」  
内容3 「地域と生活」
- 7 内容4 「公共物や公共施設の利用」道徳との関連を考える
- 8 内容5 「季節の変化と生活」  
内容の関連付けの意義を知り年間計画を考える
- 9 内容6 「自然や物を使った遊び」身近な物での物作り体験
- 10 内容7 「動植物の飼育・栽培」
- 11 内容8 「生活や出来事との交流」
- 12 内容9 「自分の成長」「生活科の評価方法」
- 13 学習指導案づくり  
内容6 物づくりの場面の展開を考える
- 14 模擬授業
- 15 テスト

### 授業の方法

テキストによる講義を行うとともに、ワークショップやディスカッションを織りまぜながら理解を深める。授業の初めは、身近な植物の観察「知っておきたい身近な植物」を行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席は2点減点し、遅刻は1点減点とする。

### テキスト

レジュメを配布

### 参考図書

文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」